

星の夢百聞

～ 第 145号 ～

発行日:2018年3月1日
発行:有限会社 おいらーく
札幌市東区北25条東20丁目7-1
発行人:星野 二三江

看取り研修報告

2月16日
18時30分 開催!

「施設での看取り」というテーマでのお話でしたが、居宅のケアマネである私も大変勉強になった内容でした。生命を終える場所がどこであっても、ご本人は安楽にご家族は迷いなくその時に臨めるように、看取る準備をお手伝いする事が私たちの大事な役割であると改めて感じました。

私は施設での看取り経験はありません。在宅で看取りに関わった経験は数件ですが、在宅での看取りは施設と違い介護職員が行うことを、ほぼご家族が担う事になるためご家族の不安や負担は大きく、看取りの受け止め指導や看取り後の心のケアが重要になります。研修の中で、看取りのマニュアルや冊子があればよいとの意見があり、それを使って勉強できればご家族を支えられるのではないかなと思いました。池田先生から、豊生会で作成計画があるとのこと、是非作ってほしいと思いました。私自身、現在もターミナルの方やがん治療を行っている方に関わっているため、冊子の活用は自分自身の勉強にもなりますし、今後の支援に役立てる事ができると思いました。

今回研修に参加し得られるものがたくさんあり、参加してよかったと思います。またこのような機会を設けていただければと思います。お忙しい中、貴重な講話をいただいた池田先生、企画準備いただいた藤田所長を始めスタッフの皆様へ感謝いたします。



ケアプラン 銭函
菅原所長

施設での看取りについて

2018.2.16元町ひまわり消化器内科・腎透析クリニック



【第2事業部DTW出張の旅】

ダンシング・ヒーロー、
ヒロインは！だーれ！！

今回はグループホーム夢さんにお邪魔しました。シリーズ5回目となったダンスパーティーでしたが、現場職員と入居者様の意気込みの凄さに会場は熱気ムンムン！

開始時は「みんな、緊張しています…」とNリーダー心配そうでしたが数分後には、みなさん踊り出していました。休憩を兼ねたドリンクタイムでは、全員が生絞り特製ジュースを作り乾杯！

まだまだダンスは続きます。気付けば一列になってジェンカ♪
これ、とっても楽しかったです！グループホーム夢さんと他事業所のDTWの終結によって、とても素敵な一日となりました。満員御礼ありがとうございました。まだまだ旅は続きまーす♪

サテライトえくぼ介護員…東出



COCO東雁来式番館からの報告

素敵な生け花の作者は？

COCO東雁来式番館、2階にお住まいの中川節子様は、毎月受付に置く生け花を担当していただくことになりました。

ご本人は名前を出さないうで欲しい！と言われているので、こっそり部長に写真を送ります。昨日生けて、今朝には椿が満開でした。入居されている方も、来館される方も、働く私たちも癒されています。

生活支援員…金丸知恵



介護技術試験開始!

おいらーく 介護技術認定試験が 始まりました!



おいらーくCPC(キャリアパス
カレッジ)委員会の取り組みで行っ
ている介護技術講習会の実技認定
試験が始まりました。この取り組み
も今年で3年目となり、講習会の受
講者は107名。全5項目の講習を
修了して認定試験に臨む職員は88
名と、ともに過去最多の人数となっ
ています。この技術試験を通過した
後は筆記試験に進む事になり、こ
を合格すると次年度1年間の「おい
らーく認定介護士」の社内資格を有
することになります。

つくという面もあるのですが、
なにより講習を受ける事で介護に必
要な技術とその根拠を学ぶ事がで
き、試験を設ける事でその内容につ
いての振り返りも必要になり、より
学びも深まるだろうという狙いがあ
ります。多くの職員が各自の努力で
資格取得を目指す事で、おいらーく
全体での技術・質の向上につながり
ます。その先に、利用者の皆様へ質
の高いサービスの提供という形での
還元をする事ができます。

今年3年目ということもあり、
講習会を毎年受けている職員は戸惑
う事もなく実技をこなして、初
めて講習会に参加する職員に指導を
するという姿もみられました。例年
続けてきた事が、確実に身について
いる事が実感できた場面です。

今期の試験はまだこれからです
が、すでに次年度への取り組みが動
き始めています。3年続けた講習内
容を刷新し、キャリア段位制度にも
沿った内容での講習会を行おうとい
うものです。詳細はまた改めてお伝
えますが、CPC委員会の活動
も、職員の皆さんと共に向上しなが
ら進めて行きたいと思えます。



えくほ
大場所長



行事

節分行事

うらら伏古



2月1日(木)節分行事を行いました。職員が鬼に変身すると、皆様笑顔で喜んでいました。豆まきをする事が出来なかった

ので、「豆まきと称して玉入れをしました。参加者を半分に分け、チームを作りました。勝ったチームには500どんぐりをプレゼント！入居者の皆様もどんぐり欲しさに一所懸命でした。その後は節分に関する歌を職員と歌い、楽しい時間を過ごしました。そして最後の締めは恵方巻！！今年の恵方は南南東と言う事で、職員と一緒に南南東を向き恵方巻を召し上がりました。

皆様、やはり寿司系が好きなようであったという間に完食されました。また来年も皆様を楽しめるような節分にしたいとしみじみ思う職員一同でした…。

うらら相談員 山本



生きがいサロン東雁来

昔から「2月は逃げて走る」と言われるようにあつという間に1ヶ月が過ぎ去ってしまいますので、季節を感じてもらおうと、生きがいサロン東雁来では2月3日(土)に節分の豆まきを行いました。

施設内を節分用に飾り付け準備万端！併設されている

Coco東雁来の高橋ホーム長が赤鬼を買って出てくれ、デイサービス女性スタッフが青鬼になり豆まき開始。青鬼が女性だから遠慮されたのか、赤鬼がはまり役だったのか、初めは皆さん赤鬼にばかりに豆をぶつけてました。ところが、青鬼がお尻を突き出し踊りだすと笑顔で豆をぶつけ始め、普段はあまり行事などに参加されない利用者様も笑顔が溢れ、とても和やかなムードの豆まきとなりました。撒く豆とは別に、おやつ用に柔らかい豆とチョコを用意して、皆さん「季節感を味わえてよかった」と喜んで下さり充実した時間となりました。その後Coco東雁来の住宅でも豆まきを行い、赤鬼さん青鬼さん大活躍の1日でした。

介護員 大江 恵久美



DTってなーに？



一日をベッドで過ごされ無気力になった利用者様へは、マッサージや視覚へ衝撃で脳に刺激をします。



通いに来られても不穏な状態が続きいつも静養コーナーで休まっている利用者様にある声の素敵な男性の利用者様に朗読をしてもらったところ「おじさんのいい声で寂しい気持ちがなくなった」と言葉。その男性の方も「僕のこんな読み方で喜んでくれるなんて僕のほうがうれしい。またいつでも読むからね。」と感動する場面も

看護小規模多機能ということで、医療ニーズが高い方が多く一日中お部屋で過ごされている方や看取りの方へのDT（ダイバーショナルセラピー）五感への刺激や今日起きる意味を見出せるようなアプローチを行っています。
えくぼ元町道

去年の七夕には「今、遭いたい人」とテーマを出したところ、とても素敵な短冊が沢山集まりました。先日看取られた方のご家族様にお渡しした所、自分の名前が書いてあり涙を流し喜んでいました。



行事

冬行事

小規模多機能えくぼ

2月に入って全国的に寒波が続く中、えくぼ、COCO元町式番館、パールロード元町では2月3日節分で笑顔の花が沢山咲きました。男性職員扮する鬼の股間めがけ「鬼は外」と豆を撒く利用者様や「あらく可哀想だから」と撒いたふりをされる利用者様など皆様楽しんで頂けた様です。職員もお腹抱え笑いました。

考流学舎による餅つき大会では、朝から皆さん楽しみにされ「餅をつけるの」とソワソワされていました。餅をついた後で、つきたてのお餅をおしるこで堪能され、「お代わり無いの?」と笑顔で楽しまれていました。

又、毎月行なう誕生会や毎日のレクリエーションでは利用者様が積極的に参加して頂ける様に工夫をしています。今人気のレクリエーションはパットゴルフです。一人十球打ちますが「一つしか入らなった」とシヨックを受ける利用者様や「六つも入った!」と喜ぶ方もおりその度に声援が湧きます。

利用者様と日々の関わりを通し毎日多くを学ばせて頂いております。今後利用者様のニーズに答えていける様に努力して行きたいと思っております。

介護員 櫻井



新人自己紹介コーナー



うらら伏古 佐藤 久美子

昨年12月よりうらら伏古に配属になりました。私が数ある介護施設から『おいらーく』を選んだ理由は、以前母が同じグループでお世話になっていたことがきっかけです。自分の力で母を見る事が難しい中スタッフの方々の温かいサポートを受ける事で私自身が子供を抱えながら働き、生活を維持する事が出来ていました。当時の感謝を込めてご利用されている皆様の想いを汲み取れるよう努めかけがえないのない時間を大切にしていきたいと思っています。



てんやわんや 廣瀬 悠妃

デイサービスで働き始めて4ヶ月経ちました。前職の介護とは違い、戸惑う事が多いのですが少しずつ慣れてきました。違う目線での介護、難しいですが新鮮で毎日充実しています。これからもっと利用者さんの事を深く理解して業務に従事していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



えくぼ東雁来 外川 誠一

12月に入社し、えくぼ東雁来に勤務させて頂いてから3か月が経ちました。以前はグループホームに勤めていたため、入居者様の多さと慣れない訪問の仕事に始めは少し戸惑いましたが、他の職員の方々のご指導、ご協力もあり、ようやく仕事にも慣れてきました。利用者の方々にもわからない事を丁寧に教えていただけなので、とても助かっています。これからは、利用者様と数多く接し、その人らしい生活を送れる為に何をしたら良いか考えながら支援していきたいと思ひます。1973年生まれ、しし座、B型、4歳、2歳の二人の子供とファイターズをこよなく愛しています。



てんやわんや本町 高堂 和美

昨年11月に入社しました高堂和美と申します。我が子を出産するまでは別職種で勤務しておりました。ひよんな事から介護職と出会い早4年、今は天職だと思っております。昔から高齢者さんにご縁があり、気が付けばスーパーなどで向こうから話を掛けてきて仲良くお話している所に友達が来て「知り合いい？」と間違えられたりなどありました。まだ至らない点多々あるかと思ひますが、笑顔を絶やさずに職務に励みたいと思ひます。



うらら伏古 木下 徹朗

2018年1月より介護職員として入社しました。木下 徹朗と申します。私は誰とでも話す事ができ高校の時は3年間、無遅刻・無欠席で表彰された事もあるので、健康面では自信を持っています。仕事では不慣れな事が多いですが、早く慣れて一人前になりたいと日々頑張っています。ご家族様・ご入居者の皆様、見かけた際には声を掛けて下さい。宜しくお願い致します。



総務 谷口 亜希

昨年の11月に入社しました谷口亜希と申します。総務経理課に配属となりました。私の強みは、健康であることです。中・高校生とスポーツ系の部活に所属しており、現在では、夕食に野菜中心とした食生活を続けています。健康管理も大切な仕事の一部と思っておりますので、一日でも早く仕事に慣れ、会社の一員として明るく元気に健康を維持しながら、努力して参りたいと思ひます。



総務 斉藤 正登

昨年12月より総務経理課に勤務しております、斉藤正登と申します。まだまだ未熟な点多く皆様にはご迷惑おかけしております。早く仕事を覚え、お役に立つことができるように精進してまいります。趣味は音楽鑑賞です。部活やサークルではクラリネットやファゴットを吹いていました。同じ趣味の方がいらっしやったらお話を聞かせていただけると嬉しいです。どうぞこれからよろしくお願い致します。

特集! 人間万事塞翁が馬



似顔絵作:松田 郁美

Yさんは、昭和12年8月4日、青森県南津軽郡尾上町にお生まれになりました。雪深い土地で、男3人女1人の4人兄弟の3男としていつも一番下の妹を気遣いながら、元気に走り回るのが好きな少年時代だったとの事です。

通った小学校は全校生徒1400人の大きな学校。しかし当時は戦時中。空襲警報が鳴るたび、防空壕に隠れる訓練ばかり、また農業を営んでいたご実家の手伝いで、「勉強をした記憶はあまりないね。」と懐かしそうにお話下さいました。幸に、ご実家は青森市から40km程はなれており、実際には空襲の被害は無く終戦を迎えられています。

中学校を卒業すると、近くの大きな米農家に働きに出て、朝早くから夜遅くまで仕事、仕事毎日だったようです。馬や牛を使つての重労働で、「人が馬を操つてゐるのか、馬に人が操られてゐるのか分からなかった。」との事。冬は米農家の仕事は休みになったようですが、その分、埼玉県のリンゴ農家に手伝いに行き、主にリンゴの剪定をされていました。

北海道に移ったのは、30歳の頃。実母の兄弟を頼つて札幌にきた。その時、自動車の2種免許を取得し、タクシードライバーとして働き始めました。

「あ、あの時は、お客さんが沢山で大変だったんだ。」
「すすきでは忙しくて、乗せてくれと言つてお客さんをよく断つたもんだよ。」

「タクシードライバーの会社に就いて、たんだけど、あの頃は運転手が足りなくて全国から色んな人が集められていてね…。気性の荒い人が沢山いたなあ…」
と当時の事をしみじみ思い出されています。

その後、目の病気の為、2種免許を更新せず、パチンコ店の店員として働き始めます。店内の仕事の他、従業員の送り迎え、社長の奥様と共に、札幌市内2カ所あったお店への集金、ツリ銭の補充など、札幌に来てからも、忙しい日々だったようです。

時々、仲間と連れ立って行く、札幌競馬場が一番良い気分転換になったとの事でした。

Yさんの思い出の歌は、小林旭の「昔の名前で出ています」、運転席のラジオからよく流れていた歌だそうです。
「てんやわんや本町を利用するようになったのが、丁度2年前の平成28年2月頃。ゆつくりと入浴され、忙しかった当時の疲れを、少しずつ癒されております。」
また、生活リハビリとして、床のモップ掛けや、昼食時の食器準備をいつも手伝つて下さります。これからも頼りにしております。

第35弾! ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



ピョンチャンオリンピック。再び数々のドラマが生まれた。ケガを乗り越え、恐怖心に打ち克ち、重圧や緊張に屈せず戦つた。政治的色彩合いの部分もありながら、選手達は皆素晴らしい競技を繰り広げた。今回日本人選手のメダル獲得数は冬季オリンピックとしては過去最多らしい。皆さん感動をありがとう! 葛西選手は残念だったが今後も現役最高齢を更新してほしい。

今大会も金メダル獲得の羽生結弦選手。フィギュアのジャンプ技にはアクセル、ルッツ、フリッツ、ループ、サルコウ、トゥループなどがある。競技実況中それらの名前を良く聞きますよね。なかでも羽生選手が決めたトリプルアクセル、4回転サルコウや4回転トゥループは超難度の技だ。だけど我々素人にはどれがどれかわからないし、実際何回転しているのかも数えられない。スノーボードでは銀メダルの平野歩夢選手が「ダブルコーク1440(フォーティーンフォーティーン)」という技を決めた。ダブルコークは、横1回転半に縦2回転を加えたスピン系の技のことを言うらしい。決して「コカコーラ2杯で1440CCのごことではない。スノーボードには他にも「ダブルマック」「ローストビーフ」や「チキンサラダ」なんて名前の技があるらしい。もはやファーストフード店だな。

冬季オリンピックだから当然雪や氷の上での戦いだ。であれば私達の暮らしに身近な雪かき、雪下ろし、氷割りなども競技として増やしたらどうだろうか。

例えば雪かきなら指定されたエリアに早くかいた雪を積み上げるかを競う。隣近所とのトラブルを避けるために境界を出た雪は減点対象となる。道具を自在に操る技術が要求され、難易度の高いトリプルスコップなど織り交ぜると高得点だ。できれば私の家を競技会場にしてほしい。

雪下ろしは屋根の雪をいかに早く下ろすかを競わせる。これも私の家でやってほしい。転落の危険があるから命綱が必要だが、身体能力の高いオリンピック選手にそんなものは無用だ。万が一滑り落ちててもK点を超えレマーク姿勢で決めると加点される。

氷割りは玄関先でやるような家庭的なものではなく、オホーツクの漂う流水の上で豪快にやって欲しい。ここでも難易度の高い4回転ツルハンが見られよう。自分の乗る流水をできるだけ小さく砕いていくのだが、浮力の計算などカーリングなみの緻密さが求められる。ただし失敗した場合、自分が溺れるからウェットスーツと救命胴衣は絶対必要だ。

以上、北海道民の冬の暮らしに役立つ新競技の提案であったが、我ながらそんなバカな競技が採用されるはずはない。私はただ雪かきと雪下ろしの過酷な労働から解放されたかった。

おいらーく

2月行事内容と3月行事予定

平成30年3月行事予定

平成30年2月行事内容とイベント風景

平成30年3月行事予定

平成30年2月行事内容とイベント風景

せんり	○21日 誕生日会 ○24日 運営懇談会
うらら伏古	○上旬 ひな祭り ○中旬 運営懇談会 ○中旬 避難訓練
Coco東雁来	○3日 ひな祭り ○6日 衣類訪問販売 ○13日 喫茶「ココよ」 ○下旬 ランチへGO
東雁来式番館	○3日 ひな祭り ○6日 考流学舎 一丁目カフェ ザ・ビック買い物へGO
Coco元町	○出前喫茶 ○映画観賞会 ○笑いヨガ
元町式番館	○雑祭り ○おはぎ作り ○誕生日会
えくぼ東	○雑祭り ○おはぎ作り ○誕生日会
えくぼ元町	○3日 雑祭り行事
銭函お散歩 カフェ	○3日、17日 趣味の会 ○14日 認知症カフェ ○26日 手芸の日 ○30日 落語会
ホーム夢	○ひな祭り ○お誕生日会

○誕生日会&バレンタインデー	
○1日 節分 ○15日 どんぐり銀行	
○3日 節分 ○13日 喫茶「ココよ」	
○3日 節分 ○果物販売会 ○ザ・ビック 買い物へGO	
○3日 節分 ○16日 ヴァイオリンコンサート ○笑いヨガ 20回	
○3日 節分 ○16日 ヴァイオリンコンサート ○21日 考流学舎による餅つき	
○クッキー作り(サテ) ○バレンタインクッキー作り (本体サテ合同) ○雑飾り作り	
○3日 節分 ○16日 バイオリンコンサート	
○3日、17日 趣味の会 ○16日 カンタン体操(認知症カフェ) ○19日 手芸の日 ○24日 ピアノ演奏会	
○節分 みんなで「おには〜そと」	

経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。